

# 岩手研本報

No. 2 0 7  
編集・発行  
岩手県公立小中学校  
事務職員研究協議会  
総務部  
令和2年2月25日

## 第49回岩手県公立小中学校事務研究大会

10月11日(金)、いわて県民情報交流センターを会場に、288名の事務職員が集い、第49回岩手県公立小中学校事務研究大会が開催されました。

平成30年度からスタートした新研究大会計画で隔年開催となってから初めてとなる今次研究大会は、「いわてのグランドデザイン」を実践し学校経営に参画する岩手の学校事務の確立と研究を目的とし、「創造しよう！ 学校事務の将来像を ～笑顔が広がる いい学校をめざして」をテーマに、県事務研研究部主管の全体研究会と、二戸支部、遠野支部、和賀支部の分科会発表が行われました。



## 全体研究会

### 「いわてのグランドデザイン～みんなでできる実行策～」 深化のためのアクションプランを考える

上記のテーマで発表された今回の全体研究会では、本協議会研究部より「いわてのグランドデザイン」深化のため、3つの答申からなるグランドデザインと、4つの視点からなる「みんなでできる実行策」の新たなチャレンジの方策が提起され、私たち学校



#### 「いわてのグランドデザイン」 ～みんなでできる実行策～



事務職員が「個人として」「共同実施として」また「事務研として」今後どのようにアクションを起こすべきか示されました。「企画調整する」「アウトプットする」をキーワードに、具体的なアクションを示しながら、さらに実際の事例も紹介され、「みんなでできる実行策」にチャレンジしていく上での取り掛かりも見えた提案となりました。

盛岡大学文学部児童教育学科准教授 福島正行先生からは、「カリキュラムマネジメント」を図で示しながらわかりやすく解説していただき、あらためてつかさどる事務職員が再確認できました。

## 《全体司会者》

下屋敷 智美さん(盛岡市立乙部中学校 主事)が全体司会を担当しました。聞き取りやすい声で、最後まで落ち着いた進行でした。大変お疲れ様でした。

「緊張しました」と言いながらも、「貴重な経験となりました。同年代の方にぜひ経験してほしいです」とおすすめていただきました。

下屋敷さん、どうもありがとうございました。



## 分科会

各分科会参加者の方々の感想を紹介します。

### 《二戸支部分科会》

#### 学校事務職員の職務を考える ～学校事務経営計画の策定を通して～



職務内容の研究の分科会に初めて参加しました。分科会では二戸支部の学校事務経営計画の策定の取組についての発表がされました。支部全員が経営計画を個別に作成し、経営・実践・評価・改善までの取組内容の実践例も聞くことができました。会場には、研究集録に掲載しきれなかった経営計画書が掲示され、たいへん参考になりました。

1つ目の討議の柱の「学校事務経営計画策定の有効性を考える」において、有効ではあることはわかっているが、まだまだ策定している人が少ない現状にあることがわかりました。

2つ目の討議の柱の「学校経営における学校事務職員の役割を考える」においては、〈従事する〉から〈つかさどる〉に変更になったこともふまえて討議が行われました。

事務経営計画とは、学校教育目標を達成するための計画だと説明があり、より具体的に経営計画をイメージする事ができました。

いつもの学校事務をただ処理していただくだけではなく、目標をもって実践し、評価し、次にむけて改善していくことが大切であることを感じました。午前中に行われた全体研究会をさらに深める事ができた分科会でした。

遠野市立遠野北小学校 主任 菊池 栄子さん

二戸支部では、学校事務職員の経験年数に応じた学校経営計画の策定について、研究発表が行われました。

運営計画は作成しているが経営計画は作成していないという学校が、分科会場ではほとんどでした。運営と経営の違いは何か。「運営とは与えられたことをこなす実務的な事務であり、経営とは目標を達成するための企画的な事務である」という助言者からの意見を聞き、受動的だった働き方を能動的な働き方へ変革させていく必要があるという意識を、私自身もしっかりと持たなければならぬと思いました。

研究大会のテーマでもある「創造しよう！」を意識し、児童生徒に求められている「主体的・対話的で深い学び」を教員も学校事務職員も達成していく必要があります。また「事務をつかさどる」への改正を重荷に感じるのではなく、校長と同じ目を持って学校経営に携わることがこれからの事務職員に求められていると聞き、学校事務全般に対し広い視野を持って関わる事が大切なのだと学びました。

学校経営計画の策定は簡単ではなく課題もあるという意見が出ましたが、発表者の「とりあえずやってみよう」と思い、策定が始まった」という言葉から、まずスタートラインから一歩踏み出すことの大切さを感じました。それこそが、受動から能動への変化だと思います。学校経営計画の策定の有無に関わらず重要な共通意識を、研究発表の場を通して分科会場全体で共有できたのではないかと思います。

八幡平市立安代小学校 主事 伊澤 茉那さん

## 《遠野支部分科会》

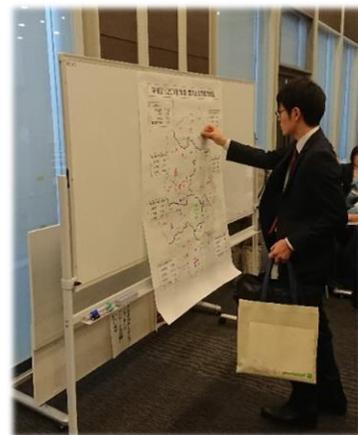
### 「遠野市内小中学校における学校集金の業務改善」 ～事務職員・教員・保護者の負担軽減をめざして～

804 会議室に入ると、模造紙に岩手県の地図があり、桃・青・黄の3色のシールが参加者により貼られていました。青・黄のシールは口座振替をしている（青：郵貯、黄：その他の金融機関）学校を表していました。今後、学校集金は口座振替がスタンダードになるような印象でした。遠野市では将来的には「学校集金の公会計化」を目標に、教育委員会との連携や規則の制定などを目指していました。詳しくは今大会の研究収録 31 ページから読んでいただくと遠野支部の研究結果がわかると思います。

助言者である福島正行氏（盛岡大学児童教育学科 准教授）が「戦前は、会計業務を教育委員会が行っていた時代があった。それが、教育現場で集金することに代わり、そして、再び、教育委員会の業務に戻そうとしている。かつて、現場で集金をするようになった意味、教育現場からお金を遠ざけるメリット・デメリットを考えなければいけない。」と助言されていました。

今回の分科会に参加して、現在の学校の実情と学校集金の本来の姿について深い議論を進めると、いずれは学校もキャッシュレスになれるかもしれないと思いました。

江刺家小学校 事務職員 下村 園美さん



## 《和賀支部分科会》

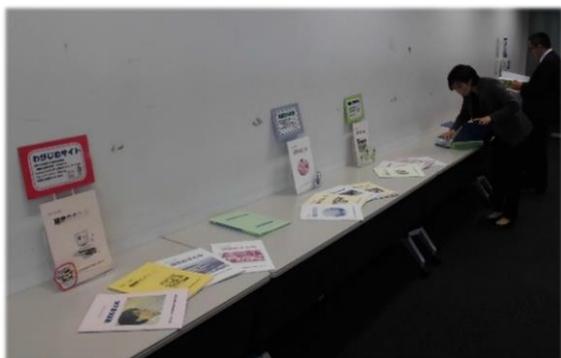
### 地区事務研の財産を継承し、発展させていくために ～つুক্তた ひろげた つなげたい～

和賀支部の研究の足跡から学ぶところはたくさんありました。文書処理を統一することは、画一的な行政サービスの提供ではなく、教員も巻き込んで学校に文書管理を定着させ、更には文書取扱主任の職責を新採用時から意識づけることにつながっています。会計支援マニュアル『おたすけ丸』の提示も、そこで完結とせず、実践と研究を継続し、定着させています。私費会計について自信をもって語れることの大前提には、財務規則に則って適切に処理されている公費会計があります。発表では特に触れていませんが、コンプライアンス意識の一端を窺い知ることができます。情報は取り組みの歴史は比較的浅い分野ですが、どのように関わるかを考え、取り組んでいる姿勢を現在進行形で示していただきました。

『文書・会計・情報』は、事務職員が担っている職務の一部でしかありません。しかし、基本に学びながら考えを深め、課題解決に取り組む研究と実践のスパイラルが、確実に人材育成につながり、学校経営上、信頼される立ち位置を獲得しているという印象を受けました。

最後に『これからの事務職員活動』の問題提起がありました。課題はあっても、主体的な事務職員と事務職員集団の育成が、自ずから回答を導き出すのではないかと感じた研究発表でした。

金ヶ崎町立金ヶ崎小学校 事務長 今野 恵子さん



## いわての学び希望基金

本協議会では、「いわての学び希望基金」へ協力しています。この基金は、東日本大震災によって親を失った子どもたちが学校を卒業し、社会人として独り立ちするまでの支援を行う基金です。

今年も県大会会場で参加者のみなさんにご協力いただきました。募金額は 7, 310円 でした。ありがとうございました。



## 第2回支部代表者会

令和元年12月6日(金) 会場：都南公民館

各部の事業報告と今後の予定について協議、確認されました。

- 1 総務部
  - ・公立小中高等学校事務職員連絡協議会について
  - ・全事研セミナーについて
  - ・役員選考委員会について
- 2 研修部
  - ・第49回岩手県公立小中学校事務研究大会について
  - ・第2回岩手県公立小中学校事務職員全体研修会について
- 3 研究部
  - ・「いわてのグランドデザイン～みんなのできる実行策～」実践の推進と検証について
  - ・第23回東北地区公立小中学校事務職員大会秋田大会への取組について
  - ・研究者との連携について
  - ・全事研調査について
- 4 情報交換
  - ・各支部の加配申請の状況について
  - ・36協定について



## お知らせ

### 『第2回岩手県公立小中学校事務職員全体研修会』

期 日 : 令和2年9月4日(金)

会 場 : 盛岡市 アイーナ

### 『第23回東北地区公立小中学校事務研究大会秋田大会』

期 日 : 令和2年10月15日(木)～16日(金)

会 場 : 秋田県秋田市 秋田市文化会館

### 『第50回岩手県公立小中学校事務研究大会』

期 日 : 令和3年10月8日(金)

会 場 : 盛岡市 アイーナ



## 編集後記

今回もたくさんの方のご協力をいただき、無事に発行することが出来ました。

特にお忙しい中にも拘わらず県大会の感想を快くご寄稿いただいた皆さまには、感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

今後の広報も、より充実したものにできるよう、努めてまいります。

